



平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年1月28日

上場会社名 因幡電機産業株式会社 上場取引所 東証・大証第1部
 コード番号 9934 URL <http://www.inaba.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 守谷 承弘
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 片山 良一 TEL (06) 4391-1781

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日 ~ 平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	134,457	2.2	7,977	7.8	8,131	8.3	4,525	5.3
19年3月期第3四半期	131,533	13.9	7,399	27.6	7,508	24.8	4,297	24.5
19年3月期	182,693	—	10,019	—	10,129	—	5,788	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	202	05	201	15
19年3月期第3四半期	193	94	192	59
19年3月期	260	77	258	98

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
20年3月期第3四半期	110,317		64,931		58.8		2,893	06
19年3月期第3四半期	107,232		61,642		57.4		2,768	84
19年3月期	115,151		63,415		55.0		2,832	80

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第3四半期	4,397		△4,129		△2,379		13,126	
19年3月期第3四半期	3,538		△1,031		△1,862		14,021	
19年3月期	4,699		△1,288		△1,548		15,238	

2. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

1株当たり当期純利益を除き、平成19年11月12日公表の業績予想から変更しておりません。

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	185,000	1.3	10,100	0.8	10,200	0.7	5,900	1.9	263	06

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。
 経済状況・市場環境に係るリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測数値と異なる可能性があります。
 なお、上記業績予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

＜電気機器事業＞

大型施設向けの配分電盤、非常用発電機、特高圧受電設備等の販売が堅調に推移いたしました。

また、銅価格は期央より下落傾向にありますが依然として高値水準にあり、これを主要材料としている電線ケーブル類の売上高が増加した結果、連結売上高923億4百万円（前年同期比2.6%増）、連結営業利益15億64百万円（前年同期比21.3%増）となりました。

＜産業機器事業＞

当業界の今年度の製品出荷は昨年度と同水準であるものの、特定顧客への売上高の減少により、制御機器、電子部品の販売が総じて低調に推移し、連結売上高179億32百万円（前年同期比6.0%減）、連結営業利益4億26百万円（前年同期比12.2%減）となりました。

＜空調配管事業＞

主力製品である空調配管化粧カバー「スリムダクトシリーズ」の販売については、前年同期の水準を維持する一方で、銅価格の高騰に対応した被覆銅管の販売価格の上昇により売上高が大幅に増加した結果、連結売上高240億46百万円（前年同期比7.5%増）、連結営業利益59億18百万円（前年同期比5.9%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産額は、前連結会計年度末に比べ48億34百万円減少し、1,103億17百万円となりました。これは主に、たな卸資産等が増加いたしました。現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少があったことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債総額は、前連結会計年度末に比べ63億50百万円減少し、453億85百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金等の減少があったことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産総額は、前連結会計年度末に比べ15億15百万円増加し、649億31百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加があったことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ21億11百万円減少し、131億26百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、43億97百万円となりました。これは主に法人税等の支払(52億66百万円)やたな卸資産の増加(29億46百万円)や仕入債務の減少(21億46百万円)等がありましたが、税金等調整前四半期純利益の計上(79億19百万円)や売上債権の減少(78億76百万円)等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、41億29百万円となりました。これは主に有価証券の償還による収入(11億円)等により増加いたしました。投資有価証券の取得による支出(50億24百万円)等があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、23億79百万円となりました。これは主に配当金の支払(25億68百万円)等があったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年3月期の業績予想につきましては、今後改正建築基準法の影響により建築着工の遅れが生じるなどのマイナス要因や銅価格をはじめとした素材価格の動向次第では業績に相応の影響を受ける可能性があるものの、第3四半期までの業績は順調に推移しており、平成19年11月12日公表の業績予想から変更しておりません。

4. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)		当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)		増減	(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(資産の部)						
流動資産	74,276	69.3	74,874	67.9	598	82,537
現金及び預金	14,021		13,126		△894	15,238
受取手形及び売掛金	47,965		48,355		390	56,067
たな卸資産	9,384		10,337		953	7,391
その他	2,905		3,054		149	3,840
固定資産	32,956	30.7	35,442	32.1	2,486	32,614
有形固定資産	20,224	18.8	19,798	17.9	△425	20,159
無形固定資産	403	0.4	424	0.4	21	415
投資その他の資産	12,328	11.5	15,218	13.8	2,890	12,039
資産合計	107,232	100.0	110,317	100.0	3,084	115,151
(負債の部)						
流動負債	41,122	38.3	41,223	37.3	100	47,230
支払手形及び買掛金	36,773		37,715		942	39,861
その他	4,349		3,507		△842	7,368
固定負債	4,467	4.2	4,162	3.8	△304	4,505
負債合計	45,590	42.5	45,385	41.1	△204	51,736
(純資産の部)						
株主資本						
資本金	8,120	7.6	8,120	7.4	—	8,120
資本剰余金	8,328	7.8	8,364	7.6	35	8,328
利益剰余金	51,746	48.2	55,177	50.0	3,430	53,225
自己株式	△8,636	△8.1	△8,156	△7.4	480	△8,310
株主資本合計	59,559	55.5	63,505	57.6	3,946	61,363
評価・換算差額等						
その他有価証券評価差額金	2,041	1.9	1,380	1.2	△661	2,006
繰延ヘッジ損益	△1	△0.0	—	—	1	—
評価・換算差額等合計	2,040	1.9	1,380	1.2	△660	2,006
少数株主持分	42	0.1	45	0.1	2	45
純資産合計	61,642	57.5	64,931	58.9	3,288	63,415
負債、純資産合計	107,232	100.0	110,317	100.0	3,084	115,151

(注) 表示金額は、百万円未満を切り捨てております。

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)		当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)		増減	(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
売上高	131,533	100.0	134,457	100.0	2,923	182,693
売上原価	111,739	85.0	113,783	84.6	2,044	155,851
売上総利益	19,794	15.0	20,673	15.4	879	26,841
販売費及び一般管理費	12,394	9.4	12,696	9.5	301	16,822
営業利益	7,399	5.6	7,977	5.9	577	10,019
営業外収益	991	0.8	1,059	0.8	68	1,289
営業外費用	882	0.7	905	0.7	22	1,178
経常利益	7,508	5.7	8,131	6.0	623	10,129
特別利益	95	0.1	108	0.1	12	159
固定資産売却益	10		89		78	10
投資有価証券売却益	70		9		△60	70
貸倒引当金戻入益	14		9		△4	78
特別損失	49	0.1	320	0.2	270	71
投資有価証券評価損	—		266		266	—
固定資産除売却損	19		51		32	32
役員退職慰労金	27		—		△27	27
その他特別損失	3		1		△1	11
税金等調整前四半期(当期)純利益	7,553	5.7	7,919	5.9	366	10,217
法人税、住民税及び事業税	2,941	2.2	2,770	2.1	△170	4,688
法人税等調整額	308	0.2	622	0.4	314	△267
少数株主利益	6	0.0	0	0.0	△5	8
四半期(当期)純利益	4,297	3.3	4,525	3.4	227	5,788

(注) 表示金額は、百万円未満を切り捨てております。

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増減	(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	7,553	7,919	366	10,217
減価償却費	745	693	△51	1,014
退職給付引当金の増減額	△2	0	3	△3
売上債権の増減額	2,837	7,876	5,038	△5,332
たな卸資産の増加額	△2,920	△2,946	△25	△927
仕入債務の増減額	△1,233	△2,146	△912	1,855
法人税等の支払額	△3,191	△5,266	△2,075	△3,204
その他	△249	△1,733	△1,483	1,078
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,538	4,397	858	4,699
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー				
有価証券の償還による収入	—	1,100	1,100	—
有形固定資産の取得による支出	△350	△331	18	△537
有形固定資産の売却による収入	141	140	△0	141
投資有価証券の取得による支出	△1,315	△5,024	△3,708	△1,605
投資有価証券の償還による収入	500	—	△500	700
投資有価証券の売却による収入	147	18	△129	148
その他	△155	△32	122	△136
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,031	△4,129	△3,097	△1,288

科目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増減	(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
Ⅲ. 財務活動によるキャッシュ・フロー				
自己株式の取得による支出	△2	△1	0	△4
ストックオプションの権利行使に伴う自己株式の売却による収入	349	191	△157	664
配当金の支払額	△2,207	△2,568	△360	△2,208
少数株主への配当金の支払額	△0	△0	—	△0
その他	—	0	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,862	△2,379	△517	△1,548
Ⅳ. 現金及び現金同等物の増減額	645	△2,111	△2,756	1,862
Ⅴ. 現金及び現金同等物期首残高	13,376	15,238	1,862	13,376
Ⅵ. 現金及び現金同等物第3四半期末(期末)残高	14,021	13,126	△894	15,238

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前年同四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

売上高及び営業損益 (百万円)							
	電気機器事業	産業機器事業	空調配管事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	89,951	19,083	22,367	131	131,533	—	131,533
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	237	523	1,871	192	2,823	△2,823	—
計	90,188	19,607	24,238	323	134,357	△2,823	131,533
営業費用	88,897	19,121	18,650	321	126,991	△2,856	124,134
営業利益	1,290	485	5,588	1	7,366	32	7,399

当四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

売上高及び営業損益 (百万円)							
	電気機器事業	産業機器事業	空調配管事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	92,304	17,932	24,046	173	134,457	—	134,457
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	239	601	2,094	159	3,095	△3,095	—
計	92,544	18,534	26,140	333	137,552	△3,095	134,457
営業費用	90,979	18,108	20,222	318	129,628	△3,148	126,480
営業利益	1,564	426	5,918	14	7,923	53	7,977